

形5種郵便物認可

里帰り 学者 日本の物理学を語る

神奈川県大磯で開かれている理論物理学の、夏の学校に参加するため、アメリカで活躍している日本の物理学者たちが帰ってきている。そこで、これらの、湯川頭脳、の六氏に、海外からみた日本の物理学研究の評論や、アメリカでの仕事ぶりなどを聞いてきた。

ひかえ目な日本人

田中 先生、久しぶりの日本は、
田中 聞いてたほど変わってない。十八年ぶりとは思えないよ。種物なんかは変わってきけど……

南 種物は、どの国の人か強い。仕事はしやすい。田中 雑務がない。勉強にエネルギーがある。東洋人では、アメリカの研究のための情報源が豊富な。田中 国際会議などで話題になるのは、最新の研究だけ。中国や日本人は、どこでもひっそりなる。そのための通信手段は「直接話す」ことだ。南 そうですね。日本人は、日本人らしいな。

南 そうですね。日本人らしいな。田中 そうですね。日本人らしいな。

田中 そうですね。日本人らしいな。

南 そうですね。日本人らしいな。

田中 そうですね。日本人らしいな。

